

日本登山医学会認定山岳医・山岳看護師・学会員コース
 日本登山医学会認定国際山岳医・山岳看護師・学会員コース
 - 2017年度立山クラスタⅡ 個人装備一覧表 -

以下にあげた装備を参考に各自用意して下さい。この表と全く同じでなくても、同等の機能を持ち検定中の安全な行動に支障がなければ問題ありません。検定の一環として装備内容の確認をおこないます。クライミングロープはクラスタ実行委員会が用意します。ロープ以外の装備についてはレンタル品はありません。

内 容	数量	備 考
ヘルメット	1	クライミング用に市販されているもので、落石対応のタイプ
レックループタイプのハーネス	1	クライミング用で、ビレイループ付きであること 雪上、山岳スキーを主目的とする軽量・簡易型は不可
下降器+安全環付カラビナ	1set	エイト環、ATC、ルベルソなど
確保器+安全環付カラビナ	1set	ルベルソ、ATC ガイドなど カラビナはHMS 等確保器具の使用に最適な型のもの
自己確保用ランヤード+安全環付カラビナ	1	パーソナルカーシステム(PAS)等の既製品又は120cmスリングを結んで作ったものでも可。但し下記スリングとは別に準備のこと
ソウンスリング	7	60cmを5本と120cmを各2本 ダイニーマ製等、細いものが適切
安全環付カラビナ	3	上記の自己確保用ランヤード・下降器・確保器用とは別に3個準備のこと
カラビナ	12	D型ストレートゲート9枚
プルージックコード	2	エーデルワイス社の7mmロープ1.5mをダブルフィッシャーマンノットで結んで作ったもの
細引き	1	直径3~4mm×5m程度
ヘッドランプ	1	予備電池も必携
登山靴	1	くるぶし以上の深さがあるもの
クライミングシューズ	1	長時間の着用ができる大きめのサイズ
体育館内用シューズ	1	上記クライミングシューズで代用可。登山靴の代用は不可。
溪流シューズ	1	沢登り参加者（国際認定コース）必携
確保用手袋（ビレイグローブ）	1	革製 指先まで覆うクライミング用の手袋
雨 具	1	上下セパレートタイプ。防寒着も兼ねる。
バックパック	1	40~50 リットル
スタッフバッグ	適数	私物整理用
笛（ホイッスル）	1	紐付き
ナイフ	1	紐付き
コンパス	1	シルバコンパス等、プレート付き
地形図	3	国土地理院発行 1/25000「大岩」 磁北線を記載しておくこと
行動食（昼食、非常食を含む）	適量	高カロリーで食べやすいもの。加熱調理不要のもの
水筒	1	2リットル分。登山研修所の水道は飲用可能です。
防寒着	1	フリースなど、軽量で速乾性、保温性のよいもの

腕時計	1	高度計付など
その他の非常用品	適数	レスキューシート、固形燃料、クッカー、ろうそく、マッチ（要防水）など
修理用具	適数	針、糸、ボタン、針金、ペンチ、ガムテープ、リペアテープ等。
テーピングテープ、三角巾など	適数	関節や筋肉の保護、または応急手当用。
医薬品	適数	内服、外傷用など少量。持病薬も。
健康保険証（写し）		
筆記用具	適数	
登山に適した動きやすい服装	適数	タイツと短パンの組み合わせは不可 薄い素材でも長袖、くるぶしまで覆う長ズボン 沢登り用には速乾性繊維のものがよい
帽子	—	日よけ、雨よけ用
トイレットペーパー	適数	水溶性の物
研修所での生活用品	適数	タオル、洗面具 着替え等
虫よけ、虫刺され薬	適数	

ここに記載していないものであっても、登山中に要救助者を救助するのに必要と思われる装備、山岳救助隊と同行する場合に必要なと思われる装備があれば、必要に応じて各自携行してください。